

平成26年度 亀岡市支えあいまちづくり協働支援金

事業報告会資料

亀岡市 生涯学習部 市民協働課

§ 亀岡市支えあいまちづくり協働支援金交付決定事業実績報告一覧

団体名 (代表者名)	決算額 (円)	交付決定額 (円)	対象事業	事業名	事業内容	事業効果 (成果と効果)	実施期間	実施場所	参加人数	備考
スタート事業			市民活動 型単独事 業・スタート 事業	みんなで作ろう！ 亀岡の未来図	亀岡の伝統的な魅力を継承し、折衷的な魅力を現代のニーズとを組み合わせる取り組みなどを紹介する「亀スゴっ！」を6回、新しいまちづくりにつなげるための「亀岡ソーシャル大学」を2回開催した。	亀岡市外からも多くの参加者があり、亀岡の魅力発信に効果があつた。また、ゲストとして来て頂いた団体や個人とのネットワーク構築もでき、今後の展開への布石となった。	平成26年5月3日～平成27年3月30日	ガレリアかめおかほか	亀スゴっ！(265人) 第1回50人、第2回60人、第3回65人、第4回40人、第5回30人、第6回20人 亀岡ソーシャル大学(58人) 第1回30人、第2回28人	
スタート事業			市民活動 型単独事 業・スタート アップ事業	世界の人に教えたい日本料理	来日及び在日外国人と市民を対象にして、草の根国際交流の一環として、古民家を会場に、季節に応じた地場産品を使用し、日本料理づくりを体験する機会を提供した。	外国人にとつては、日本料理を一緒に調理し、食べることで交流を深めることができ、また地域の若年層にも良い刺激となり、新たな地域活性化につながった。	平成26年5月17日～平成27年3月31日	ゲストハウス藤原邸(旭町)	5月17日 20人 10月11日 13人 12月29日 62人 2月18日 12人 合計107人	
スタート事業			市民活動 型単独事 業・スタート アップ事業	多文化共生をめざす外国人にたいしての理解を深めたい	①外国につながる子どもに学習指導を行う子どもを向上させること ②外国籍の保護者を持つ子どもとの交流を通して多文化共生への理解を促進した。	学習指導を行う子どももたつたほか、母親への学習もでき、満足度が高かった。また関係機関などとの情報交換などもできた。	平成26年5月1日～平成27年3月31日	馬路文化センターほか	①学習指導 34回 (対象児童5名) 指導者養成講座 2回(延べ35名) ②17人	
スタート事業			市民活動 型単独事 業・スタート アップ事業	就活カフェ	民間企業等で働いている社会人講師や市内で地域活動をされている人を招き、座談会やインタビュー形式で話を聞き、若者が仕事を志事に変える生き方をすすめるきっかけ作りを行った。(15回)	働くことに悩みを抱える人に対し、安心感を与え、就職に至るまでの支援につながる機会を提供することができた。	平成26年5月14日～平成27年3月16日	京都丹波若者サポーターズ テージョン(速分町)	15回 94人	
スタート事業			市民活動 型単独事 業・スタート アップ事業	生ごみ減量・リサイクル推進活動	家庭から出る生ごみ堆肥化の普及や活動や生ごみ堆肥を育てて高野菜による料理教室や園芸教室、講演会などを開催した。(8回)	料理や園芸教室との組み合わせで生ごみ堆肥のやり方を伝えることで具体的な内容を伝えることができた。	平成26年5月14日～平成27年3月31日	ガレリアかめおかほか	8回 188人	

§ 亀岡市支えあいまじりり協働支援金交付決定事業実績報告一覧

団体名 (代表者名)	決算額 (円)	交付決定額 (円)	対象事業	事業名	事業内容	事業効果 (成果と効果)	実施期間	実施場所	参加人数	備考
(一社)京都市 会福祉士会中 部支部口丹地 区 (川上 真知 子)	130,438円	100,000円	市民活動 型単独事 業・ステツ アップ事業	第12回社会福祉 公開講座	市民の関心が高い介護問題を 取り上げ、3年に1回の介護保 険制度の改正を中心に保険制 度の理解や活用、地域での福 祉活動の促進に関する公開講 座を開催した。	例年を大幅に上回る 参加者があり、介護に 携わる専門職だけで はなく、介護に関心の ある一般の方にも広く 啓発を行うことができ た。	平成26年4月13日～ 平成27年3月10日	ガレリアかめおか	93人	
かめおか遊友 ネットワーク (田中 英夫)	353,085円	200,000円	市民活動 型単独事 業・ステツ アップ事業	地域絆づくり推進 事業	①レク楽園(レクリエーション)の 企画・運営)5回開催 ②亀岡共生プロジェクト及び認知 (障がい)のサポートと活動 症サポーター講座)2回開催 ③まじりりワークショップ(レク リエーション技術)2回開催 ほか	延べ約700人が交流 し、学ぶ場が展開でき た。また、新たな活動 グループが立ち上がり、京都学園大学を拠 点とした活動の展開 が見られた。	平成26年4月29日～ 平成27年2月7日	亀岡市内の公共施設ほか	①107人 ②75人 ③56人 ④遊友ハイキング 22人 ⑤第11回かめおか WAKUWAKUフェス ティバル 400人	
障がい児支援 団体 キッズ・ バリアフリー (末吉 理花)	311,638円	200,000円	市民活動 型単独事 業・ステツ アップ事業	障害者手帳をもら えない障害児へ の支援	障がいのある子どもが、障が いと向き合いながら成長でき よう、障がいに対する理解を 増やすために障がい児と健常 児が一緒に学ぶ陶芸教室や パン教室を開催し、またHP等 を通じた情報発信を行った。	平成27年度におい て、京都市、亀岡市で 難産児童への助成金 制度が創設されるな ど支援が充実してきて おり、会員数も3倍以 上になるなど理解が 進んできた。	平成26年5月15日～ 平成27年3月31日	ガレリアかめおかほか	①親子陶芸教室 (50人) ②親子ハンドマッ サージ(74人) ③親子パン教室 (39人)	
てくてくと遊ほ う会 (綿引 恒平)	218,220円	200,000円	市民活動 型単独事 業・ステツ アップ事業	だれでもアーツ プロジェクト 「ふねのバレード」 をつくる、みる、た のしむ	アーツやアートイベントに対す る理解を広めることを目的とし て、身近にある素材を使った ふねづくりのワークショップを 開催するとともに、完成品を 使った展覧会を行った。	親子で一緒に作った り、大人が真剣に取り 細む姿が見られた。ま た、完成品の展覧会 をガレリアかめおかの 館内装飾として取り組 むことができ、一般市 民の方にも見ていた だことができた。	平成26年5月16日～ 平成26年11月4日	ガレリアかめおか	ワークショッ プ 約 70人	
NPO法人亀岡 子育てネット ワーク (田中 美賀 子)	819,562円	200,000円	市民活動 型単独事 業・ステツ アップ事業	0・1・2・3歳親子 room COCOlik	未就園児とその保護者を対象 として、子どもと保護者双方の 育ちの場として、子どもの年齢 ごとにクラス分けされた講座を 開催した。	家庭で子育てする 親子を心身ともにフオ ローできる大切な事業 となってきた。	平成26年4月1日～平 成27年3月31日	ふらっとHOUSE(追分町) ほか	開催回数 72回 参加者数 1,024人	

ステツアップ事業

S 亀岡市支えあいまちづくり協働支援金交付決定事業実績報告一覧

団体名 (代表者名)	決算額 (円)	交付決定額 (円)	対象事業	事業名	事業内容	事業効果 (成果と効果)	実施期間	実施場所	参加人数	備考
ステップアップ事業 アニマルネットワーク亀岡 (畑 初美)	138,339円	130,000円	市民活動型単独事業・ステップアップ事業	ペットの終生飼育と命に優しい街づくり	動物愛護センターから譲渡を受けた犬の写真展開催を通して、終生飼育について考える機会づくりを行った。また、動物に関する相談窓口を設置し、相談対応するとともに、マネー向上の啓発を行った。	写真展を通じ、譲渡される動物の現状の理解が進むとともに、譲渡も実施できた。また、相談などで個人の悩み相談対応が可能となった。	平成26年4月1日～平成27年3月31日	カレリアかめおかほか	写真展来場者 478人 相談対応 6件	
市民連携事業 ほづがわチャリティファンラン実行委員会 (原田 禎夫)	1,828,792円	1,000,000円	企画提案型協働事業・市民連携事業	第3回ほづがわチャリティファンラン	保津川の景観の中を、楽しくランニングし、収益金をチャリティとして環境保全に活用するチャリティファンランの第3回目を開催した。	目標を上回る参加者数があったのみならず、ボランティアにも多くの参加があった。市外からの参加者への観光アピールや地域の小中学生の活躍の場も設けることができた。	平成26年6月1日～平成27年3月31日	保津川河川敷	参加者 382人 ボランティア77人	
行政連携事業 NPO法人亀岡子育てネットワーク (田中 美賀子)	802,257円	800,000円	企画提案型協働事業・行政連携事業	Gyutto特別号	自然豊かで歴史や文化が数多く残る亀岡の素晴らしさを小学生に教科書とは違う視点で紹介する冊子を作成した。	市との協働により、取材、配布等が効率的に行えた。また、南丹高校の社会科授業で取り上げてもらうなど、目的である若者への周知効果が出てきた。	平成26年9月23日～平成27年3月31日	亀岡子育てネットワーク事務所及び亀岡市内	発行部数 12,000部	

平成26年度亀岡市支えあいまちづくり協働支援金事業報告会

- P 1 ~ 3 実績報告一覧
- P 4 ~ 8 収支決算一覧
- P 8 ~ 12 ゲストハウス藤原邸
「世界の人に教えたい日本料理」
- P 13 ~ 16 Office Com Junto(オフィス・コン・ジュント)
「-外国につながりを持つ子と保護者の支援を通して-」
- P 17 ~ 20 NPO法人森と農園のある暮らし
「就活カフェ」
- P 21 ~ 23 生ごみでおいしい野菜と美しい花を育てる会
「生ごみ減量・リサイクル推進活動」
- P 24 ~ 27 (一社)京都社会福祉士会中部支部口丹地区
「第12回社会福祉公開講座」
- P 28 ~ 31 かめおか遊友ネットワーク
「地域絆づくり推進事業」
- P 32 ~ 37 亀岡みらいパース
「みんなで作ろう！亀岡の未来図」
- P 38 ~ 41 障がい児支援団体キッズ・バリアフリー
「障害者手帳をもらえない障害児への支援」
- P 42 ~ 45 てくてくと遊ぼう会
「だれでもアーティストプロジェクト
『ふねのパレード』-つくる・みる・たのしむ-」
- P 46 ~ 55 NPO法人亀岡子育てネットワーク
「0・1・2・3歳親子room COCOいく」
- P 56 ~ 59 アニマルネットワーク亀岡
「ペットの終生飼育と命に優しい街づくり」
- P 60 ~ 65 ほづがわチャリティ・ファンラン実行委員会
「第3回ほづがわチャリティファンラン」
- P 66 ~ 69 NPO法人亀岡子育てネットワーク
「Gyutto特別号」

平成26年度 亀岡市支えあいまちづくり協働支援金交付事業収支決算一覧 単位(円)

	団体名 項目	ゲストハウス藤原邸		Office Com Junto		NPO法人森と農園のある暮らし	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	協働支援金	100,000	100,000	200,000	200,000	200,000	200,000
	自己資金	105,000	27,967			50,000	57,812
	事業収入等	35,000	29,100	42,000	56,200		
	寄付金						
	合計	240,000	157,067	242,000	256,200	250,000	257,812
支出(対象経費)	報償費	100,000	20,000	136,000	134,000	50,000	200,000
	人件費		45,000				
	旅費	30,000				30,000	
	消耗品費	100,000	90,567	45,000	70,430	50,000	2,587
	印刷製本費				28,610	100,000	
	通信運搬費			3,000	492	20,000	
	保険料	10,000	1,500	14,000	1,110		
	使用料及び賃借料			24,400	14,160		
	飲食費						
	手数料						
	広告宣伝費						
	委託料						
	備品購入費						
	間接経費						
計	240,000	157,067	222,400	248,802	250,000	202,587	
支出(対象外経費)		0		19,600		0	55,225
合計		240,000	157,067	242,000	248,802	250,000	257,812

	団体名	生ごみでおいしい野菜と美しい花を育てる会		(一社)京都社会福祉士会中部支部口丹地区		かめおか遊友ネットワーク	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	協働支援金	190,000	190,000	100,000	100,000	200,000	200,000
	自己資金	10,000	59,564		30,438	57,600	26,385
	事業収入等	35,000	39,420			115,000	126,700
	寄付金						
	合計	235,000	288,984	100,000	130,438	372,600	353,085
支出(対象経費)	報償費	30,000	125,000	50,000	50,000	120,000	150,000
	人件費					19,200	12,800
	旅費		26,480	15,000	2,000	22,400	15,000
	消耗品費	80,000	46,986	10,000	24,024	35,000	31,679
	印刷製本費	55,000	41,590	5,000	6,955	25,000	11,286
	通信運搬費	15,000	25,068	5,000	250	10,000	4,821
	保険料					20,000	16,800
	使用料及び賃借料	10,000	20,860	15,000	45,857	10,000	5,421
	飲食費				1,352	5,000	8,900
	手数料					1,000	0
	広告宣伝費					20,000	16,200
	委託料					50,000	43,200
	備品購入費						
	間接経費						
計	190,000	285,984	100,000	130,438	337,600	316,107	
支出(対象外経費)	45,000	3,000	0		35,000	36,978	
合計	235,000	288,984	100,000	130,438	372,600	353,085	

	団体名 項目	亀岡みらいパース		障がい児支援団体キッズ・バリアフリー		てくてくと遊ぼう会	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	協働支援金	100,000	100,000	200,000	200,000	200,000	200,000
	自己資金	83,000	12,945		28,343	15,000	220
	事業収入等	30,000	91,200	75,000	83,295	25,000	18,000
	寄付金						
	合計	213,000	204,145	275,000	311,638	240,000	218,220
支出(対象経費)	報償費	75,000	22,258	30,000	42,040	30,000	
	人件費					50,000	62,000
	旅費	28,000	27,000	30,000	25,600	5,000	4,020
	消耗品費		44,935	81,000	58,801	80,000	94,086
	印刷製本費	40,000	39,796	30,000	7,020	10,000	12,950
	通信運搬費				12,458	10,000	9,020
	保険料			10,000		5,000	
	使用料及び賃借料	14,000	45,356	40,000	15,570	50,000	18,144
	飲食費			4,000	3,749		
	手数料						
	広告宣伝費			50,000	40,000		
	委託料	56,000	24,800				
	備品購入費						
	間接経費						
計	213,000	204,145	275,000	205,238	240,000	200,220	
支出(対象外経費)		0		0	106,400	0	18,000
合計	213,000	204,145	275,000	311,638	240,000	218,220	

	団体名 項目	NPO法人亀岡子育てネットワーク (ステップアップ事業)		アニマルネットワーク亀岡		ほづがわチャリティ・ファンラン実行委員会	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	協働支援金	200,000	200,000	130,000	130,000	1,000,000	1,000,000
	自己資金		25,168	2,374	8,339	540,000	
	事業収入等	780,000	639,800			820,000	828,792
	寄付金						
	合計	980,000	864,968	132,374	138,339	2,360,000	1,828,792
支出(対象経費)	報償費	66,816	62,565			110,000	269,000
	人件費	633,600	520,200			440,000	
	旅費	58,800	41,450				
	消耗品費	48,584	93,267	24,470	14,154	200,000	360,467
	印刷製本費	78,000	32,669	50,000	24,849		51,880
	通信運搬費			7,000	2,616	250,000	13,504
	保険料		1,840	6,000		30,000	20,080
	使用料及び賃借料	41,100	67,571	44,904	41,720	500,000	223,323
	飲食費						
	手数料						
	広告宣伝費						
	委託料				55,000	400,000	167,303
	備品購入費						
	間接経費					100,000	73,000
計	926,900	819,562	132,374	138,339	2,030,000	1,178,557	
支出(対象外経費)	53,100	45,406	0		330,000	650,235	
合計	980,000	864,968	132,374	138,339	2,360,000	1,828,792	

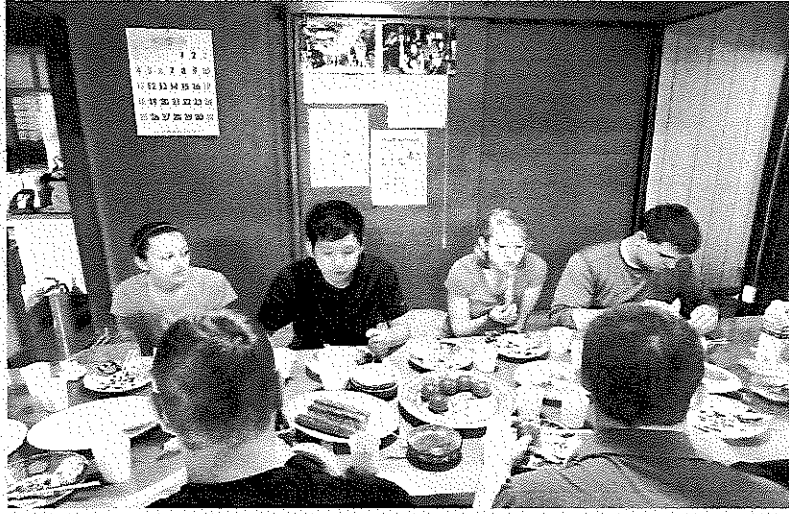
	団体名	NPO法人亀岡子育てネットワーク (行政連携事業)	
	項目	予算	決算
収入	協働支援金	800,000	800,000
	自己資金		2,257
	事業収入等		
	寄付金		
	合計	800,000	802,257
支出(対象経費)	報償費		
	人件費	510,000	486,000
	旅費	30,000	
	消耗品費	17,000	28,183
	印刷製本費	140,000	117,500
	通信運搬費	3,000	574
	保険料		
	使用料及び賃借料		
	飲食費		
	手数料		
	広告宣伝費		
	委託料	30,000	100,000
	備品購入費		
	間接経費	70,000	70,000
計	800,000	802,257	
支出(対象外経費)		0	
合計	800,000	802,257	

事業報告書

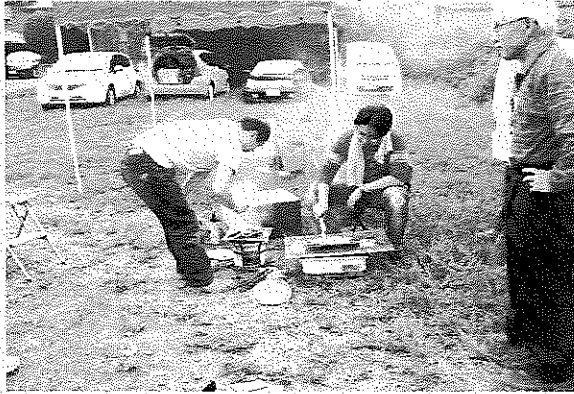
団体名：ゲストハウス藤原邸

1. 事業名	世界の人に教えた日本料理
2. 実施内容	実施した内容を具体的に記入してください。(日時、場所、参加者数、内容など)
<p>(1) たけのこ料理 平成26年5月17日(土) 午後5時～午後7時 参加者20名(外国8名) 外国の人にとっては、「たけのこを使った料理」など珍しくとても興味深く楽しんでいただけた。しかし、今年は、たけのこを掘る作業から、作る作業までを体験していただくよう計画をしていたのだが、イノシシにあらされて掘る体験はできなかった。</p> <p>(2) 栗ご飯とサンマ料理 平成26年10月11日(土) 午前11時～午後2時 参加者13名 「流しそうめん」を計画していたのだが、台風で実施できず。代わりに地域の高齢者を対象にし「栗ご飯とサンマの料理」で交流を深めた。講師がサンマを七輪の炭火で焼くコツなどを実演し、高齢の地域住民8名が参加され若者と楽しく交流できた。</p> <p>(3) 餅つき会 平成26年12月29日(月) 午前11時～午後3時半 参加者62名(外国15名) 恒例になり、今年は亀岡市や京都市以外の外国の人の参加が増えた。新聞広告や口コミ・FBでの効果があったと感じた。いつものことながら、高齢化した村の人たちも賑やかに行われる餅つきに参加する人も増加してきている。活気が生まれている。</p> <p>(4) 鍋料理 平成27年2月18日(水) 午後3時～午後7時 参加者12名 1年を締めくくる行事として、村の方々を中心に交流を深めた。だんだんと若者が少なくなる現状を悔やむばかりでなく、今住んでいる我々が楽しく活動することが活性化の一番の要素であるとの認識のもと、前向きな活動をするとの共通認識をした。その一つとして、ゲストハウス藤原邸を拠点として交流活動を充実させようとの意見が多く出た。その具体例として、村の山菜を採り・販売するなど具体的な活動が提案され具体化されようとしている。</p>	
3. 効果	実施による効果や成果を数値、具体例などを用いて具体的に記入してください。
<p>外国の方には、日本料理と一緒に調理し、会食することでより身近に感じてもらい交流が深まった。今年は、京都市や亀岡市以外の外国の方の参加が増えた。(精華町・さいたま市・茨城県・東京都など)参加者の口コミや新聞・FBの効果が大きいと感じた。</p> <p>さらに小さな村は、この取組が特別なこととしての受け止めから、当たり前の取組として受け取られるようになった。そこから、自分たちも何か楽しいことをしようとの気持ちが生まれ、昨年度は「ラジオ体操」の取組につながった。今年は、お年寄りを中心に山菜を採り、地元の「なごみの里あさひ」に販売する計画が具体化されてきている。</p>	
4. 協働の効果	<p>※企画提案型協働事業のみご記入ください。</p> <p>事業を協働で実施したことによる効果について、数値や具体例などを交えながら具体的に記入してください。</p>

たけのこ料理 5月17日



「栗ご飯とサンマ料理」 10月11日



「餅つき会」 12月29日



毎年恒例 ゲストハウス藤原邸主催 2014

もちつき大会

12月29日(月)

午前11時～午後2時



臼と杵でおもちつき。
外国人も日本人も大人も子供も
みんなでぺったんぺったんおもちつき。

参加者募集

場 所：ゲストハウス藤原邸（亀岡市旭町）
定 員：30名（定員になり次第締め切り）
参加費：小学生以上300円 幼児無料
持ち帰り：一人3個まで！

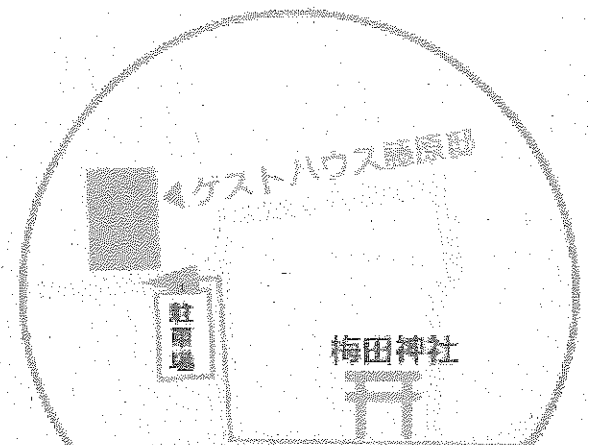
予約・お問い合わせ：

携 帯：090-3672-8322（藤原）
メール：yfuji1229@gaia.eonet.ne.jp
※日の連絡先：0771-20-7972

ゲストハウス藤原邸へのアクセス



住所は、亀岡市旭町宮ノ元2です。
目印は、梅田神社です。
477号線から403号線に入ったら、
1本目を左折。農道の正面に見える
大きな木が梅田神社の目印です。
集落の中にあります。ゲストハウスの
正面に駐車場があります。



事業報告書

団体名：オフィス・コン・ジュント

1. 事業名	1. ひまわり教室 2. 子ども Global Session 3. 国際交流支援
2. 実施内容	実施した内容を具体的に記入してください。(日時、場所、参加者数、内容など)
<p>(1) ひまわり教室</p> <p>1. ひまわり教室の開校と運営：ひまわり教室は2014年4月19日に指導者会議をし、5月13日から月に3回、火曜午後6:00~7:30に馬路文化センターで開校し、3月24日までに34回を数える。子どもは5名(小3/小4/小6:2名/中2)で、外国につながる保護者は、メキシコ1名・フィリピン2名・中国1名の4名である。1対1のていねいな指導を試み、指導者登録者は、16名(3月21日現在)である。子どもだけでなく、日本語を学びたい母親にも相対しながらやりたい方法での日本語指導も行っている。(参加費300円/子どものみ徴収)</p> <p>2. 外国につながる子どもの指導者養成講座の開設(5回)別紙</p> <p>主催講座 a. 12月21日(日)場所：ガレリア市民活動推進センター会議室 11:00~4:30 講師：櫻井千穂(大阪大学特任講師) 内容：外国につながる子どもの学習言語の評価(DLA)について(別紙) 参加者数：18名 参加費：1000円</p> <p>b. 2015年2月22日(土) 場所：同上 1:30~4:30 講師：清田淳子(立命館大学教授) 内容：外国につながる子どもの母語の保持・育成について —家庭における母語保持育成努力に注目して— 参加者数：17名 参加費：500円</p> <p>3. 学習言語を伸ばす目的で、図書・教科書等の購入をしている。 *DLA(評価)基準に応じた物語 *小学1年~6年(国語・算数教科書)・中学校1年~3年(国語・数学・英語教科書) *てのひら文庫</p> <p>4. 指導者用の外国につながる子ども・保護者への指導書購入 *にほんごサポート指導書(大阪ひまわり会)</p> <p>(2) 子ども Global Session(別紙)</p> <p>日時：10月5日(日)11:00~2:00 場所：西本好江邸(宮前町神前奥尻34) 参加者：17名 参加費：300円</p> <p>内容：1. オーボエコンサート 講師：波々伯部宏彦(精華町在住)</p> <p>2. 異文化トーク(フィリピンについて) 講師：森 シーナ(柳町在住)</p> <p>3. トガトン(フィリピンの竹楽器)でリズムを作ろう 講師：楠見静子(京田辺市在住)</p>	

(2) 国際交流 コリアン文化の理解講座(7回シリーズ)

講師：徐 希寧 (ソウ ヒョン) (韓国出身) (園部町在住)

場所：千代川小学校 2014年4月～2015年3月まで7回シリーズ

謝礼：1000円/回

3. 効果 実施による効果や成果を数値、具体例などを用いて具体的に記入してください。

(1) ひまわり教室事業

参加している子どもの学習意欲が回を追う毎に変化が見られる。また、毎回、終了後、子ども達も母親達も理解できたと言う喜びと、よく似た事情の子ども達や母親達と共に学習できたという満足感で満面の笑みが見られる。それを見た指導者達も、「また、来たい」と思える雰囲気がある。学校での先生一人に対して大勢の生徒では理解が不十分な部分を補充することは子どもの学年が低い期間に必要である。蓄積した理解不足は、学年が上がることに解消が遅れるといえる。また、講座を重ねるごとに、指導へのヒントが得られ、毎週の学習後に、本を読むことに指導者が付き合い、学習言語の獲得を目指しているが、かなりの時間が必要とされる。

また、この教室での指導だけではなく、児童の在籍校を訪問し、担任教師・校長・特別支援教室の教員などとの懇談もし、共に子どもたちの指導の情報交換もしている。

(2) 子ども Global Session

神前のひろびろとした山の上で、オーボエの音色が響き、実際に、オーボエのリードを吹かせてもらったり、フィリピンの文化の話をした母親は、自分の子どもの前で話ができたと喜び、子ども達は、タガログ語のあいさつことばなどを覚えることができた。また、亀岡の竹を使ったトガトンを保津町在住の村上貞晴さんからいただき、竹筒から音が作れることを体験した。トガトンは、オーボエ奏者の波々伯部氏が持ち帰り、別の場での音作りをしている。

(3) コリアン文化理解講座

講座を7回同じ小学校で続けることにより、コリア料理や、踊りなど、さまざまな面での理解を深めることができた。

4. 協働の効果 ※企画提案型協働事業のみご記入ください。
事業を協働で実施したことによる効果について、数値や具体例などを交えながら具体的に記入してください。

※チラシや参加者への配布資料、事業実施写真など実施状況が分かる資料を添付してください。

※記載内容が本様式に入りきらない場合は、適宜追加してください。

指導役ボランティア求ム

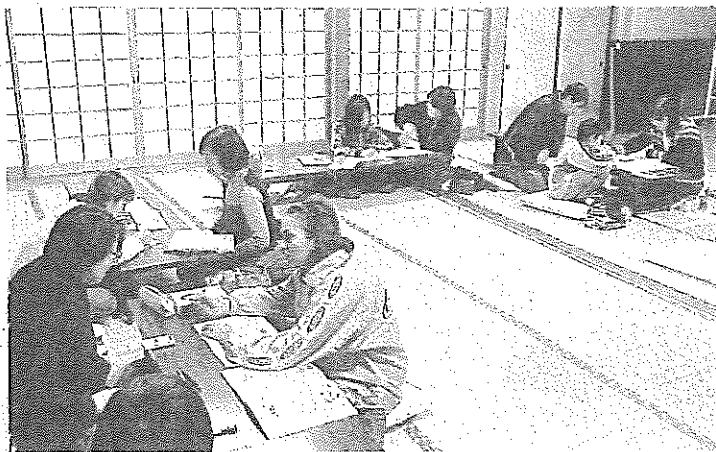
亀岡の市民団体

外国出身の親を持つ児童向けの勉強教室を開いている亀岡市の市民団体が、指導役のボランティアを募っている。現在の馬路町での教室に加え、2015年中に篠町での開催を計画しているが、指導役が少なく難しい状況という。同団体は「興味ある人はぜひ手伝って」と呼び掛けている。

異文化交流に取り組む「オフィス・コン・ジュント」が、ひまわり教室と銘打って5月から週1回開いている。現在スタッフ13人が交代で、フィリピンや中国出身の親を持つ子ども5人と保護者に勉強を一对一で教えている。

国際結婚や仕事で来日した親を持つ児童は、日常会話は流暢であろうでも、授業で使われる熟語などが理解できず、学力が身につかないケースが多いという。学習文化の違いか

新規教室開設へ



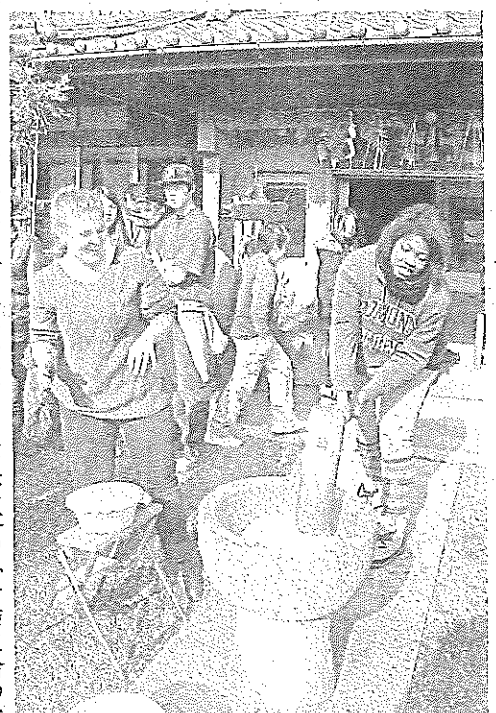
「ひまわり教室」で算数や国語を学ぶ子どもと保護者
(亀岡市馬路町・馬路町文化センター)

ら日本の勉強を教えらる元小学校教員の児嶋でない親もいて、教室では教員OBらが算数や国語を丁寧に教えている。

同団体によると、外国出身の親を持つ市内の児童生徒数は把握できていないといいますが、40人ほどいるのではあるまいかと推測している。問い合わせはオフィス・コン・ジュント0771(23)6577(久保田昌洋)

外国人留学生ら餅つき「ヨイショ」

亀岡で市民らと交流



餅つきを体験する外国人参加者
(亀岡市旭町・ゲストハウス藤原邸)

外国人と市民が交流する餅つき大会が29日、亀岡市旭町のゲストハウス藤原邸で開かれた。築200年を超える古民家で、留学生は米田やオーストラリアが日本の正月行事を体験し、つきたての餅を味わった。

同ゲストハウスが毎年主催している。今年参加者は初めて握る下から来た、ソックス・ギルモア15(23)は「コアニ、見た

高性能林業機械は有効

美山の組合 先進的導入 生産性やコスト改善

南丹市の美山町森林組合が先進的に導入を進める高性能林業機械の効果について、府南丹広域振興局がまとめた。労働生産性、生産コストとも大幅に改善されたという。

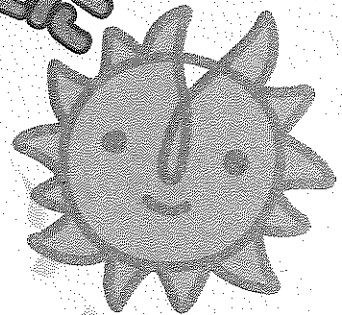
同振興局農林商工部によると、美山町森林組合は管内の6組中、最大面積を占め、全国有数の大木産地として知られる。

間伐材を資源化して森林所有者に収益を還元する取り組みを、2006年度から始めている。11年度から14年度にかけて、高性能林業機械を順次8台導入した。自走式の「フォ



伐採・間伐 揚昇・間伐機

来ませんか？ひまわり教室に



がいこく
外国につながるおとうさんや

おかあさんのいるお友だちが

たくさん来ています。

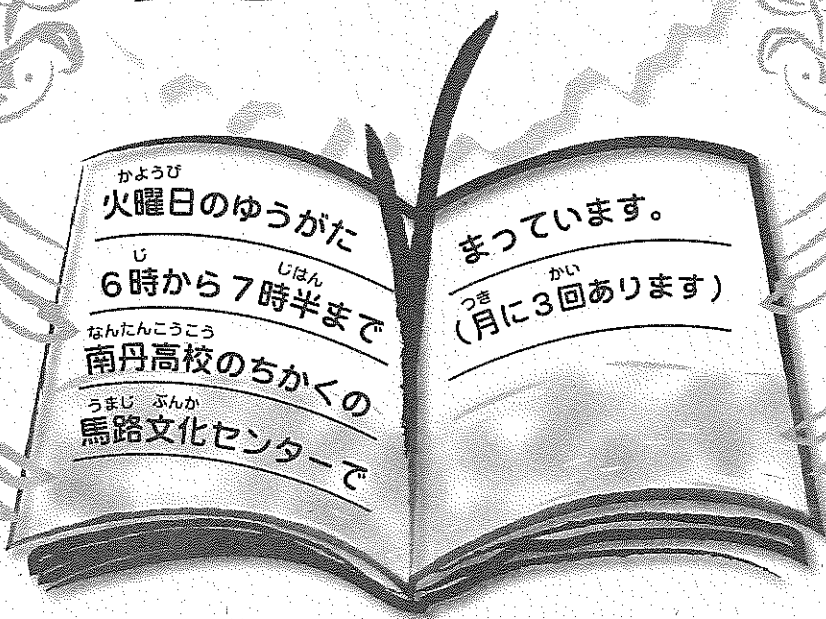
べんきょうをいっしょにやりましょう。

しゅくだいも学校のべんきょうも

なんでもいいのです。

1回
300円

※10まいのシールを先に
買ってもらい、参加した
あとで、1まいずつ切り
とります。



かようび
火曜日のゆうがた

6時から7時半まで

なんたんこうこう
南丹高校のちかくの
うましぶんか
馬路文化センターで

まっています。

(月に3回あります)

ご連絡先、お問い合わせ

オフィス コン ジェント (こじまきよみ)

TEL: 0771-23-6579

E-mail: kiyomi-kojima@gaia.eonet.ne.jp

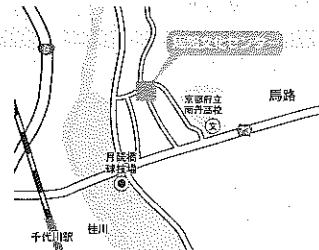
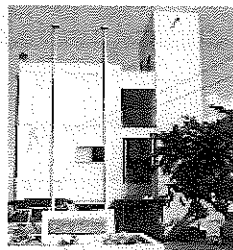
LIFE CREATE/VE
kyoto

グラフィック、ファッション、イラストレーション、アート、ヨガ、翻訳
代表 大槻正一

MAIL: mazu_o@jewel.ocn.ne.jp TEL: 0771-22-1776
ご購入・ご相談・ご依頼等、お気軽にお問い合わせください。

馬路文化センター

住所 船岡市長路町小米田 45-4
TEL 0771-23-2005



事業報告書

団体名：特定非営利活動法人 森と農園のある暮らし

1. 事業名	「就活カフェ」		
2. 実施内容	実施した内容を具体的に記入してください。(日時、場所、参加者数、内容など)		
第1回	「働くことにまつわることを一緒に考えましょう!!」	6/1 開催	参加5名
第2回	「働くことにまつわることを一緒に考えましょう!!」	6/15 開催	参加8名
第3回	「ストレス解消法!？」	7/6 開催	参加8名
第4回	「適職!？」	7/20 開催	参加9名
第5回	「自分を伝える(アサーティブ・トレーニング)」	8/25 開催	参加9名
第6回	「怒りのコントロール(アンガーマネジメント)」	8/31 開催	参加5名
第7回	「言いにくいことをどう伝えるか？」	9/19 開催	参加5名
第8回	「怒りをどう静める?(原因は自分にある)」	9/25 開催	参加2名
第9回	「自分も相手も責めない話し合い方」	10/19 開催	参加5名
第10回	「“イライラ”もとはななに？」	10/26 開催	参加5名
第11回	「元経営者が語る面接の心得」	11/9 開催	参加7名
第12回	「親のつどい」	11/30 開催	参加3名
第13回	「第一印象ってなにで決まるの？」	1/28 開催	参加3名
第14回	「精神科クリニックってどんなところ?(心理療法について)」	2/18 開催	参加7名
第15回	「面接の心得」	3/16 開催	参加13名
※講師については、チラシ参照。いずれも定員は10名。年齢不問。計94名参加。			
3. 効果	実施による効果や成果を数値、具体例などを用いて具体的に記入してください。		
<p>そもそも「就活カフェ」の目的は、4つあり、①働くことに悩みを抱える者に対し、安心感を与える場を提供すること②自分の面倒を見てくれる人がいて、同じ悩みを抱える者がいるという感覚を持てる場を提供すること③「働こう」と思ったタイミングを逃さないように就職に至るまで必要な支援をひとつの場所での確・迅速に提供すること④必要に応じて「就活カフェ」を繰り返し開催・提供することです。</p> <p>次に、認知度向上のため、積極的な広報活動を行いました。若者だけではなく、保護者に認知されるように、市の広報誌・地方新聞に広告を載せていただき、さらには、近隣の学校やゲームセンターやコンビニ等にチラシを置かせてもらいました。</p> <p>「就活カフェ」を終えての感想は、中高年であろうと若年であろうと、就業支援の内容に基本的な差はなく、就業支援には、何より雰囲気づくりが大切であると感じました。比較的短期間で就職を実現する者もいる一方で、社会人としての一般常識や生活習慣が欠けていたり就職に到達するには、相当な時間がかかることがわかりました。</p> <p>上記のことを踏まえ、このような「就活カフェ」のような場が、求められていると改めて感じました。</p>			

※チラシや参加者への配布資料、事業実施写真など実施状況が分かる資料を添付してください。

※記載内容が本様式に入りきらない場合は、適宜追加してください。



一極化：

川、城西の4小学校、東輝と大成の2中学校では現在より増加が見込まれている。小中学校の学級数(特別支援学級を除く)は、小学校が昭和61

	S30	S40	S50	S60	H/	H1/	H20	H31
亀岡	1358	1288	1123	1073	925	610	569	550
別院	203	142	92	107	83	96	42	29
南桑	469	392	531	633	534	373	356	259
育親	223	307	177	203	329	312	144	97
高田	412	430	264	249	237	157	90	79
京輝				1373	924	664	699	714
大成				435	407	301	373	386
大詳					545	309	323	320
計	2665	2559	2187	4073	3984	2822	2596	2434

合計 6986 7032 7350 12677 11741 8779 7546 7151
 H26.10.3 亀市 ※H31は推計数

別院と西別院は2、3年生が複式学級のため、5学級の「過小規模校」になっている。その一方、つつけ丘が24学級、安詳が25学

市教委は、平成25年度の市教育振興基本計画(かめおか教育プラン)を策定した。計画期間は32年度までの8カ年。同計画に掲げら

のより健やかな育成を図るためには、望ましい学習・生活集団を形成し、よりよい教育環境を整備し、魅力ある学校づくりを進めてい

若者57人の進路決定

京都丹波サポステ 4〜8月の実績

働くことに不安や悩みを抱える若者(15〜39歳)の自立支援に取り組み「京都丹波若者サポートステーション(追分町)はこのほど、4〜8月の実績をまとめた。それによると、就職と進学を合わせた進路決定者は57人に達し、昨年一年間の70人に迫る人数となっている。

また、年に数回開催しているリクルート社の就活セミナー「ホンの就職」の利用者数は5月が30人、8月が14人で、両月とも受講途中で各1人の内定者を出した。今後は11月と来年2月に予定して

数は877件で、いずれも前年同期を上回っている。今春、事務所を安町からJR亀岡駅前の好立地に移転したことから、飛び込みで来所する人が増えているという。

就職相談や居場所づくりを目的にした「就活カフェ」は、6月のスタートから計44人が参加。これから仕事を始めようと考えている子育て中の女性など、幅広い層の市民が足を運んでいる。

【森川孝則】

措置区域(圏外)でが、放射性ブルー飛散した放射性物質大気中を雲のようになつて流れる現の通過時に影響をすることも想定でき

を踏まえ検討 跡地の活用



竹岡敏教育長は「今後は防犯、防火などの安全上、建物の除去を計画している。要望に

いることから、今後の活用方法を問う質問があった。竹岡敏教育長は「今後は防犯、防火などの安全上、建物の除去を計画している。要望に

5日に「ハートフェスタ」 利用者ら構成詩の練習に励む



社会、自立支援センターかめおかの3法人でつくる実行委員会が主催する「ハートフェスタ」は、6月5日に開催された。会場では、かめおか作業所など3法人の各施設利用者によるステージ企

【森川孝則】 東京の街を歩くと、珍しい店が目につく。限りなく細分化されている。原宿ではアメリカの高級ポップコーンの店が毎日、若者が行列をつくっている。もう2年くらいたつのに行列が消える日はない。その前はハワイからきたパンケーキの店が人気だった▼早稲田大学の近くでは、フレンチトースト専門の店があった。代々木上原近くの井の頭通りには、アルゼンチンサンドイッチだけの店がある。通りを入った商店街にはブータン料理の店が頑張っているし、チエコ料理もある。住宅地のエリアに2つそろっているのは、びっくりだ▼先日、カニの缶詰をメインにするバーに入った。最近、店を広げたのに満席であった。若いカップルがカニ缶を突いている。原宿に戻ると、アメリカのカップケーキの店がオープンした。フランスからは高級食材であるフォアグラの売り込みが活発だ。このころ、そば屋さんでフォアグラを具に使った「ぶっかけ」が出てくる▼店の形態も目まぐるしく変わっている。「俺のフレンチ」や「俺のイタリアン」は、もはや珍しくもないが、

害者福祉を取り巻く厳しい状況を伝え、差別や不平等の是正を訴える。利用者や職員たちは本番に向けて熱心に構成詩の練習「写真」を重ねており、多くの来場を呼びかけている。

【森川孝則】

実績の家 システムで格安 改装

入校生募集中!! 19 通称色泣

大西章弘、柳原和明、塚田真、三浦正昭、山田珠美、服部竜一、和田誠司、野波雅紀、石田敦美、木曾布恭、川勝哲也

＜将来事業継続への考え方について＞

亀岡市は、京都市に隣接しているが、亀岡盆地の閉ざされた環境の地理的条件と大都市に隣接しながらも手つかずの自然が残る文化的な違いにより、住民意識は京都市域と比較してもかなり閉鎖的な土地柄である。

当団体は、子どもの居場所づくりにかかわる事業を行い、なかでも、自然と共生した子育て支援事業等を展開してきており、人材育成支援のノウハウの蓄積がある。

そんななか「駅前に居場所がほしい」という参加者の声を聞き、理事長提案のもと「就活カフェ」を企画した。

社会的・職業的自立へ誘導するには地方自治体との協働により、関係諸機関の協力が不可欠である。当団体は、特に「就労」「福祉」「教育」のすべての分野に深い関わりを持っており、これらを有機的につなげると思い「就活カフェ」を開設した。

亀岡市在住・在勤で就労を目指しておられる全世代の方を対象としている。ただ、亀岡市は、多くを近接大都市に依存しており、地域の持続的な発展のため産業基盤としての若者を活用し、育てなければならないという地域的要請もあることから、この地域特性に合わせたキャリア支援が欠かせないというところもある。

以上のことから、将来事業継続への考え方については、亀岡市は、亀岡駅前に京都府のサッカー専用スタジアム建設等で、これからの2、3年で社会環境が確実に変化する状況である。

今後も、多様な講師を招き、一方通行のセミナーではなく、参加者全員で問題提起できる「就活カフェ」の実現を目指していきたいと考えます。

京都府南丹地域15～39歳人口及びニート・ひきこもり数

市区町村別	15～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳	合計	ニート ひきこもり数 (2%計算)
亀岡市	5,017	5,420	5,060	5,895	6,469	27,601	552
南丹市	2,218	2,425	1,546	1,595	1,858	9,637	193
船井郡 京丹波町	780	508	524	675	795	3,227	65
合計	7,965	8,348	7,130	7,905	9,117	40,465	809

事業報告書

団体名：生ごみでおいしい野菜と美しい花を育てる会

1. 事業名	生ごみ減量・リサイクル推進活動		
2. 実施内容	実施した内容を具体的に記入してください。(日時、場所、参加者数、内容など)		
日時	場所	参加人数	内容
6月29日 午後1時30分～	ガレリアかめおか	15人	食用廃油石けん作り (EM入り)
7月11日 午後1時30分～	ガレリアかめおか	10人	夏野菜の管理方法を学ぶ
8月1日 午後1時30分～	ガレリアかめおか	12人	生ごみ堆肥で作った野菜でピザ作り 段ボールコンポスト講習
10月10日 午後1時30分～	ガレリアかめおか	15人	食用廃油石けん作り (EM入り)
11月21日 午後1時30分～	ガレリアかめおか	13人	園芸教室 段ボールコンポスト講習
12月12日 午前10時～	ガレリアかめおか	13人	冬野菜で調理、後片付けの方法 段ボールコンポスト講習
2月3日 午後1時30分～	会長宅	15人	生ごみ堆肥で作った大豆で味噌作り
3月20日 午後2時～	市民ホール	95人	藤原直哉さん講演会 「循環型社会を目指す生き方」
3. 効果	実施による効果や成果を数値、具体例などを用いて具体的に記入してください。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ堆肥の作り方と共に料理・園芸教室を実施することで、使い方の具体例を広めることができた。 ・食用廃油石けん作りなどで、循環する生活を実践する習慣をつくる効果がありました。また、使用済み天ぷら油のステーションも増加し、CO2削減につながった。 ・講演会では、健康と地球の持続可能性を志向する生活様式を学べた。 		
4. 協働の効果	<p>※企画提案型協働事業のみご記入ください。</p> <p>事業を協働で実施したことによる効果について、数値や具体例などを交えながら具体的に記入してください。</p>		

※チラシや参加者への配布資料、事業実施写真など実施状況が分かる資料を添付してください。

※記載内容が本様式に入りきらない場合は、適宜追加してください。

6/20
石鯿作り

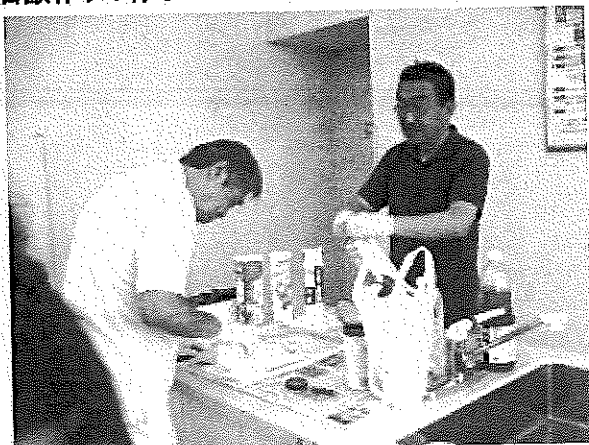


6/20

石鯿作りの様子



石鯿作りの様子2



22りの様子3

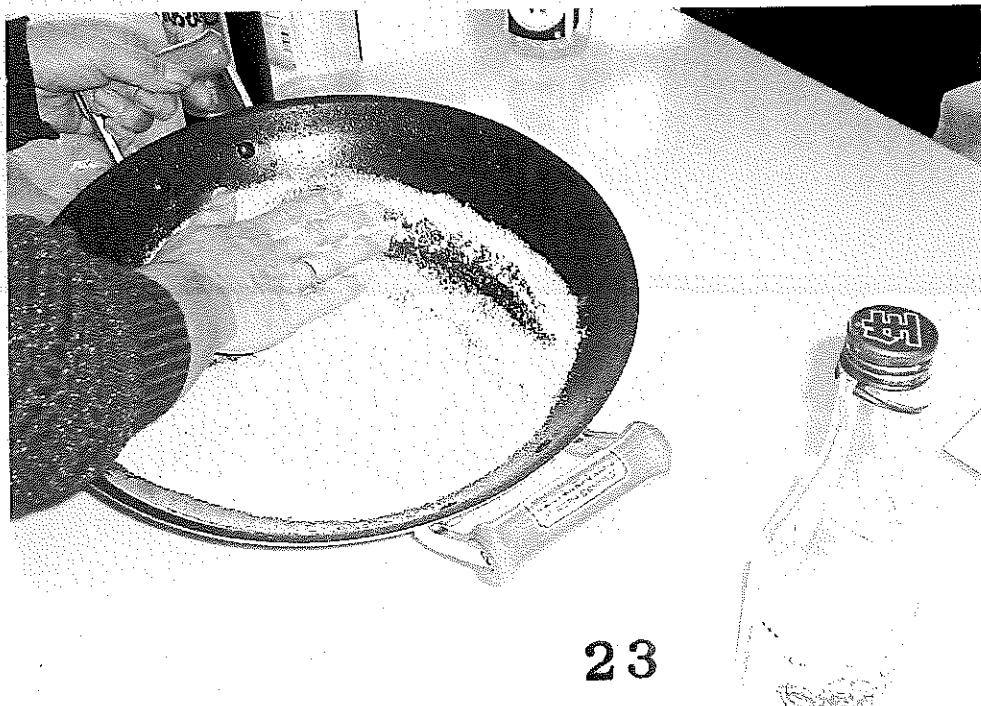
石川 行

10/10



この作りか後 7"ンフーレコフ2トヒテ講習

8/1



事業報告書

団体名：京都社会福祉士会中部支部口丹地区

1. 事業名	第12回社会福祉公開講座
2. 実施内容	実施した内容を具体的に記入してください。(日時、場所、参加者数、内容など)
<p>平成26年4月13日(日) 10:00~12:00 ガレリアかめおか3F第2会議室(出席:5名) 講演テーマの決定</p> <p>平成26年5月11日(日) 10:00~12:00 ガレリアかめおか3F第2会議室(4名) 内容の検討</p> <p>平成26年6月8日(日) 10:00~12:00 ガレリアかめおか3F第2会議室(5名) 日時・会場・講師への依頼</p> <p>平成26年7月13日(日) 10:00~12:00 ガレリアかめおか3F第2会議室(6名) 講座の時間配分の検討</p> <p>平成26年8月17日(日) 10:00~12:00 ガレリアかめおか3F第2会議室(5名) 講座の要綱の作成、協力機関への要請</p> <p>平成26年9月14日(日) 10:00~12:00 ガレリアかめおか3F第2会議室(5名) チラシの作成</p> <p>平成26年10月12日(日) 10:00~12:00 ガレリアかめおか3F第2会議室(4名) パンフレット・資料の作成</p> <p>平成26年11月9日(日) 10:00~12:00 ガレリアかめおか3F第2会議室(6名) 広報活動、プログラムの作成</p> <p>平成26年12月14日(日) 10:00~12:00 ガレリアかめおか3F第2会議室(5名) 当日の役割分担の決定</p> <p>平成27年1月11日(日) 10:00~12:00 ガレリアかめおか3F第2会議室(6名) 申込者名簿の確認、講師への確認、チラシ配布</p> <p>平成27年2月14日(土) 10:00~12:00 ガレリアかめおか3F第4会議室(6名) 前日準備、資料の印刷とまとめ</p> <p>平成27年2月15日(日) 12:00~16:30 参加者93名 ガレリアかめおか2F大広間 第12回公開講座</p> <p>平成27年3月8日(日) 10:00~12:00 ガレリアかめおか3F第2会議室(5名) 会計報告、アンケート集計、報告書チェック</p>	
3. 効果	実施による効果や成果を数値、具体例などを用いて具体的に記入してください。
<p>平成27年は、3年に1度の介護保険の改正時期にあたります。福祉公開講座のテーマとして「今度、介護保険はどうか変わる？」をとりあげて、研修しました。皆様の関心が高く、多くの方に理解を深めて頂けたと考えています。</p> <p>参加者； 社会福祉士、地域包括支援センター、居宅介護支援員、介護福祉士などの専門職</p>	

民生委員など地域福祉の最前線で活動している方々、介護をしている方、介護を受ける側の方、介護に関心のある方、一般市民

☆昨年の講座参加者58名を大きく上回る93名の出席があった。

効果； 介護保険制度の理解・活用、介護保険の制度改正点の理解、地域での福祉活動の啓発・促進に効果があった。専門職、民生委員、介護に関心のある一般の方々の啓発活動となった。

4. 協働の効果

※企画提案型協働事業のみご記入ください。

事業を協働で実施したことによる効果について、数値や具体例などを交えながら具体的に記入してください。

※チラシや参加者への配布資料、事業実施写真など実施状況が分かる資料を添付してください。

※記載内容が本様式に入りきらない場合は、適宜追加してください。

第12回 社会福祉公開講座

「介護保険制度、どこが変わるの？」

私たちの身の回りで、高齢者の介護の問題を耳にする機会が多くなっています。自分や自分の家族が加齢に伴う心身の変化で要介護状態になることは、生活環境の大きな変化と深刻な家庭問題につながることもあるからだと思います。

今回は、利用者の負担増や要支援の介護保険からの切り離しなどで話題になりました「介護保険制度の改正」をテーマにしました。今回の改正が、介護をする人や受ける人にどういった影響があるのか学んでいただきます。

日時：平成27年2月15日（日） 午後1時～4時

会場：ギャラリー亀岡 2階 研修室

講師・佛教大学社会福祉学部 教授 岡崎祐司氏

定員：50名（定員になり次第締め切ります）

参加費：無料

主催：社団法人 京都社会福祉士会 中部支部

後援：亀岡市

※この講座は「亀岡市支えあいまちづくり協働支援金」の助成を受けて実施します。

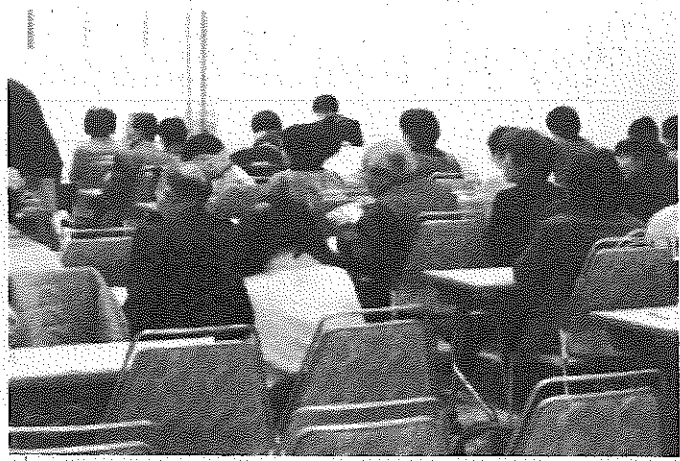
【申込方法】申込書をFAXまたは郵送。もしくは申込項目を記載しメールにてお申し込みください。

【問合せ・申込先】

〒602-602-8143 京都府京都市上京区猪熊通丸太町下ル仲之町 519 京都社会福祉会館 2F

TEL：075-803-1574 Fax：075-803-1575 Email：cswkyoto@mediawars.ne.jp

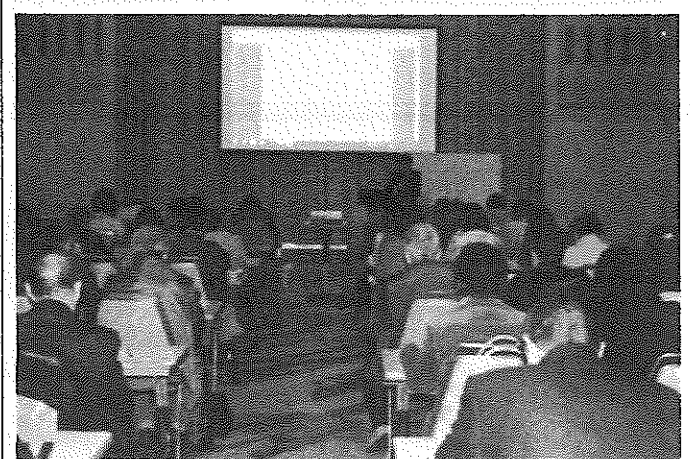
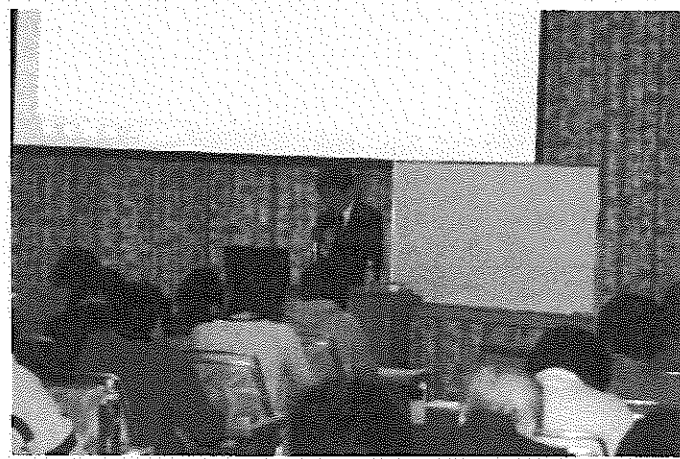




開会風景



岡崎先生講演風景



事業報告書

団体名：かめおか遊友ネットワーク

1. 事業名	地域絆づくり推進事業
2. 実施内容	実施した内容を具体的に記入してください。(日時、場所、参加者数、内容など)

①レク楽園
(年度5回)(5月24日、7月12日、9月20日、12月6日、2月7日)(目標150人→107人、会員割合40%)
ゲーム・ソング・ダンスやホスピタリティトレーニング、アイスブレイキングなどレクリエーションのアクティビティと活動の企画・運営を学ぶ講座に毎回20人の参加があったが、目標の毎回30人に達しなかった。キラリには毎回掲載していただいたが、キラリを見てくる人がいなかったのは残念であった。今年の参加者にはダイレクトメールをした。また、ネットワークを使い広報したことで、毎回20名の参加が確保できた。参加した方々は毎回学ぶべきことがあると好評で、リピーターが増えた。

②亀岡共生プロジェクト勉強会
(12月14日、1月30日)(目標100人→75人、会員割合30%) ※講演会当日が選挙と重なり、参加が減った。
様々な障害に対する支援がどのようにあるべきか?障がいをサポートするための気遣いと支援方法を現場の声から学ぶ企画である。今回、助成金を得たことでプロップステーションの竹中ナミさんの「チャレンジドが納税する社会に」と題しての講演及び認知症サポーター養成講習会を実施することができた。障がい者の和太鼓グループ“DON舞”にもオープニングで協力していただいた。

③第21回・22回手づくりワークショップ
(年度2回)(6月14日、11月8日)(目標80人→56人、会員割合50%)
素敵な講師によるレクリエーションのアクティビティの数々を紹介。場の盛り上げや対象者の違いによるさまざまな配慮について、お互いに情報交換する企画で、今回の6月講師の杉本雅子さんはレクリエーションコーディネーターで、日常生活にある材料をリサイクルして楽しい作品をつくるクラフトを中心に、発想力を学び、ものづくりの楽しみを知りました。11月は堅本盛行氏を大阪府レクリエーション協会から派遣いただき、介護予防のレクリエーションのアクティビティの数々を紹介いただきました。

④遊友ハイキング～深山で遊ぼう～
(4月29日)(目標30人→22人)
自然環境について学びながら、自然環境を守る大切さとネイチャーレクリエーションの楽しみを知るイベントです。今回もつつじの美しい花のトンネルや緑を満喫しました

⑤第11回かめおかWAKUWAKUフェスティバル(6月28日)(目標300人→400人)
地域の遊びの達人が子どもたちに遊びの面白さを伝える、異世代交流イベントは地域の各種団体の協力、自治会、小学校やPTAの協力を得て、大成功でした。

3. 効果	実施による効果や成果を数値、具体例などを用いて具体的に記入してください。
<p>1年を通して、延べ700人が交流し、学びあい、今回新たにNPO法人元気アップAGEプロジェクト、京都ジュニアクリケットクラブ“フェニックス”やローンボウルズクラブなども立ち上がり、京都学園大学を拠点に様々なグループが活動をスタートしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レク楽園 一般市民と若者たちの交流の場。世代や地域を越えた交流、また地域から若者たちが学ぶことで相乗効果があった。 ・亀岡共生プロジェクト勉強会 障がいに対する基本的理解を深め、支援していけばいいのかなど、現場の声が直接とどいた。 ・手づくりワークショップ 上記のとおり、素敵な講師によるレクリエーションが伝授され、場の盛り上げ方やコミュニケーション能力が養えた。 ・遊友ハイキング 自然と触れ合い、助け合う心や優しさが芽生え、参加者全員で共有できる緑の空間を体験できた。 ・第11回かめおかwakuwakufiestaフェスティバル 幼児から高齢者までは交流する一大イベント。昔遊びやクラフトニュースポーツなど、大好評。異世代交流や市民協働の場となっていた。 <p>補助金に頼らない自立した運営体制に向けて、会員を増やしたり、参加者を集めるための広報をもっと効率的に行ったりする、人が集まるイベントなどの際にチラシを配布するなどを検討したい。</p>	
4. 協働の効果	<p>※企画提案型協働事業のみご記入ください。 事業を協働で実施したことによる効果について、数値や具体例などを交えながら具体的に記入してください。</p>
<p>※チラシや参加者への配布資料、事業実施写真など実施状況が分かる資料を添付してください。 ※記載内容が本様式に入りきらない場合は、適宜追加してください。</p>	

地域絆づくり推進事業

かめおか遊友ネットワーク



レク楽園(年度5回)



かめおか共生プロジェクト



かめおか共生プロジェクト



かめおか共生プロジェクト
認知症サポーター養成講座



手づくりワークショップ



遊友ハイキング～深山で遊ぼう～



第11回かめおかWAKUWAKUフェスティバル



事業報告書

団体名： 亀岡みらいパス

1. 事業名	「みんなで作ろう！亀岡の未来図」 ・亀岡の魅力を話そう「亀スゴっ！」(6回シリーズ) ・亀岡ソーシャル大学「流域文化と観光」(2回シリーズ)
2. 実施内容	実施した内容を具体的に記入してください。(日時、場所、参加者数、内容など)
<p>○亀スゴっ！(6回シリーズ)</p> <p>第1回「野鍛冶職人一筋 片井操さんを囲んで」 5月31日(土) 14時～16時 場所亀岡市本町67法華寺本堂 参加者50名</p> <p>片井さんの貴重なお話と共に、京都学園大学鍛冶屋倶楽部のみなさんによるDVD上映とお話し、亀岡市文化資料館職員による資料説明等がありました。</p> <p>全国でまちの鍛冶屋が姿を消して久しいなか、既製品にはない、味のある道具をみなさんで手にとり確かめました。メンテを繰り返すことで一生モノの道具を作られる野鍛冶職人片井操さんが亀岡のまちに今も健在でおられることは、貴重な財産であることは勿論ですが、片井さんのお人柄の素晴らしさを会場参加者一同が心に刻んだひとときでした。</p> <p>当日の様子が京都新聞記事に掲載されました。</p> <p>第2回 「亀岡農業若き担い手たち」 7月19日(土) 14時～16時 場所亀岡市本町67法華寺本堂 参加者60名</p> <p>京野菜の主要生産地亀岡ですら、後継者不足、高齢化が云われています。そのような中、亀岡盆地にしっかりと根を張り農業を担う、亀岡農業の財産とも云える若き担い手たちに、農業へのビジョン、そしてそれぞれに高い評価を得ている農産物への思いを伺い、将来の亀岡における農業について話し合いました。</p> <p>☆元四季彩シェフ井内美智子さんによる、ゲストの野菜を使った野菜料理のふるまいもありました。</p> <p>・ゲストプロフィール</p> <p>【平井孝彦さん/とうかげん代表】 亀岡市旭町。2010年亀岡で新規就農。無農薬・無化学肥料・循環・自給自足が基本方針。家族に安心して食べてもらえる野菜を届けたいと考える。多品目の野菜を育て、野菜セットを亀岡、京都、大阪などに自分で宅配している。</p> <p>【藤村早苗さん/藤村種苗園勤務】 亀岡市余部町。曾祖父の代からの家業、種苗園を家族とパートさんと営む。亀岡、能勢、南丹など地域一円に販売。農家だけでなく、丁寧で明るい接客で育て方のアドバイスもし、家庭菜園、ガーデニングのガーディナーたちをも下支えする。野菜ソムリエの資格を持ち、若手農家の交流活動にも積極的に取り組んでいる。</p> <p>【林広計さん/自然農法・林農園代表】 南丹市八木町。自然農法センターで20年近く有機農業の研究、農家の指導に従事後、2007年亀岡市にて開園。農薬化学肥料動物性堆肥を一切使用せず、植物由来の有機物を中心とした土づくりを活用し年間50～60種の野菜を栽培。「身土不二」の美味しい野菜を提供出来る事を目指す。現在小学生のお子さん二人の4人家族。</p> <p>【大江広一郎/べじたぶるぼーと代表】</p>	

亀岡市本梅町。2010年亀岡で新規就農。無農薬、無化学肥料で有機農業を行い、京都、亀岡に自ら車で野菜を届けに行くスタイル。毎回、宅配の野菜に添えられた手書きのイラストと川柳なども好評。亀岡みらいパースメンバー。

大江広一郎が3人のゲストに質問しながら進行しました。

「農業を始めようと思ったきっかけは?」「農業で食べていけるのか?」「どうやって販売しているのか?」など具体的な話を色々と伺い、3者それぞれがしっかりとした信念を持って農業に取り組んでいるのが伝わってきました。

また農業の話だけでなくそれぞれの人間的な魅力も垣間みることができたと思います。

種苗屋は農業に関わる人が大勢やってくる中継地点のようなもので、人と人とのつながりを次の世代にも伝えていきたいと藤村さん。自分の畑の野菜から種まで取って次の野菜につなげる平井さん。農業人口を増やすためのサポート体制の大切さについて語る林さん。

来場者の方々も農に興味がある方が多いようで、真剣な目で話を聞いておられました。

休憩中に会場の皆さんに試食して頂いたゲストの野菜を使った野菜料理も大好評でした。

亀岡野菜のおいしさを確認し消費者としても生産者や農業についての関心を高められた企画となりました。

当日の様子が京都新聞記事に掲載されました。

第3回「ワクワク亀岡仕掛け人たち」

9月27日14時~16時 場所亀岡市本町67法華寺本堂 参加者65名

こんな集まりがあるから、このまちが好き!今年、亀岡をワクワクさせている集まりの主催者たちを紹介しました。「賑わい」「文化」「ふれあい」・・・言葉の中身は人が創ります。亀岡ならではの自然環境、力を合わせる市民の和、そして主催者たちの豊かな感性や優しさが詰まってそれぞれの形となりました。

各主催者たちに取り組み内容、これから目指すところなど大いに語って頂き、参加者も亀岡のまちで展開する多様な企画の魅力を発見する機会となりました。

ゲスト

「亀岡マルシェ」 亀岡市保津町

ジョニー ブルースさん (亀岡サンセットフェス実行委員会代表 ブルースハーブ奏者)

八木 政治さん (同 副代表 書家)

アーティストやミュージシャン・パフォーマー達が集い亀岡の第一次産業と飲食に着目し地域活性化を目的とした、「亀岡マルシェ」を企画。保津川河川敷に約5000人強の来場者が集まった。当日は「亀岡マルシェ」の準備から開催後の効果も含めたお話と johnny blues band のお二人による生演奏もあり会場が一体となって楽しめました。

「くらしと育ちの森そらまめ・もりのわ」 亀岡市篠町

石田 千穂さん (くらしと育ちの森そらまめ 呼びかけ人)

鈴木 健太郎さん (暮らしの学び舎もりのわ運営スタッフ)

「そらまめ」は自主運営の手づくりの学校。子どもたちが生き生きと学び、遊び、自分らしい生き方を楽しむ力を育むことを目指して、平成26年4月に開校。「もりのわ」は「そらまめ」と同じ隅田農園のフィールドを使い、自給自足の知恵や技術を身に付けるための学びの場を企画・運営。亀岡初の取り組みに注目が集まる。お二人の子育て、教育、環境への思いなど熱く語って頂きました。

「 楽笑会 」 亀岡市東本梅町

森 英雄さん（楽笑会代表 電気工事事業主）

竹内 博士さん（楽笑会呼びかけ人 研修講師）

「たくさんの人と楽しく集いたい」というシンプルな主旨のもと、異業種交流会、石釜ピザパーティー、婚活、野菜栽培教室、料理教室など多彩な賑わいの場づくりを行う。古民家を再生した会の拠点を8月末にオープンさせた。今までの経緯、会に込める意気込みや、インターネット やメールを介さないアナログに徹した関係づくりについて語っていただきました。

第4回 天然砥石と研ぎの文化

11月29日（土）午後2時～4時 場所法華寺（亀岡市本町67）参加者40名

ゲスト 土橋要造さん（東本梅町）

天然砥石採掘製造販売 砥取屋 当主

亀岡産出の天然砥石は日本食の評価の高まりと共に世界的にも注目される貴重な天然資源です。

鎌倉時代から培われた800年の歴史の灯を消さぬよう、後世に良品を残したいと、家業の天然砥石 砥取家を継承されている土橋要造さんにお話し頂きました。

研ぎ文化振興協会による、砥石採掘現場等のDVD上映、砥石の使い方の実演、砥石で研いだ包丁の切り口と味の変化を体験する研ぎ比べもありました。

日本固有の砥ぎ文化は、和食を生み出す包丁や宮大工の鉋などのさまざまな刃物と密接な関係にあり、日本文化を支えていると言っても過言ではありません。

亀岡が貴重な砥石産出地であることと共に砥ぎ文化の素晴らしさを学びました。

当日の様子が京都新聞記事に掲載されました。

第5回「亀岡ハーブと盲導犬クイールと」

2月7日（土）14時～16時 場所市役所市民ホール 参加者30名

ゲスト

久保末子さん NPO 法人青空ふれあい農園・ハーブ倶楽部理事長

関西盲導犬協会の職員と盲導犬のPR犬

朗読ボランティアコスモスの会のみなさん

久保末子さんはボランティア活動への理解、支援のない中で亀岡市のボランティア活動の草創期を作り上げ、その活動は亀岡市のボランティア活動、市民活動の礎ともなりました。

そのような活動の経緯を語って頂き亀岡の特産品かめおかハーブのクイールサブレの由来を知りました。

関西盲導犬協会（亀岡市曾我部町）

今年創立35周年を迎える関西盲導犬協会の職員と、クイールのふるさと関西盲導犬協会でクイールの後を継ぐPR犬も登場し、実演と共に盲導犬の育成、活動について学びました。

朗読ボランティアグループ「コスモスの会」

朗読ボランティア活動の様子をお伺いし、実際の朗読の仕方を実演と共に紹介頂きました。

第6回亀スゴっ！「料理教室！」

平成27年3月2日（土）午前10時～午後1時

場所 ガレリアかめおか調理室 参加者20名 参加費3000円

講師 西田浩二さん

京懐石料理「門」の亭主。

西田浩二さんは、御所での料理のかたわら、現役料理人のプロとして、桂高校で料理の授業を持ち、「料理甲子園」で優勝した教え子たちのバックアップもされています。

外食、テイクアウトが蔓延する中、皆さんに一番に伝えたいのは、西田さんのもつ一流の技術のみではなく、「料理をすることを好きになって下さい」「料理作りはたいそうな事ではないですよ」という事でした。

和食の基本、一人一人へのお膳を作るというコンセプトの基、松花堂弁当の枠に春らしい料理の品を作りました。丹波・亀岡の特産をいかした食材で、丹波亀岡らしい京料理を習い一緒に食しました。

西田さんの細やかで丁寧な指導のもと、参加者のみなさんはとても熱心に取り組みました。

○亀岡ソーシャル大学（シリーズ2回）

亀岡のまちの亀岡らしさとは何でしょう？ 亀岡の貴重な素材、可能性を丁寧に検証し、色々な立場の市民が学び話し合える場としてソーシャル大学を開催しました。

それぞれの講師の専門分野の詳しいお話し共に参加者からの活発な質問もあり、大変有意義な時間となりました。

亀岡ソーシャル大学〈第1回〉

「亀岡の流域文化と観光」

京都市の西隣に面した亀岡は、京都とは異なった独自の文化をつちかってきました。

亀岡の貴重な素材や可能性を丁寧に検証し、参加者の皆さんと、ともに熱く語り合う地元学セミナーとして開催しました。

講師：保津川遊船 企業組合

理事長 工藤正さん

と き：平成26年9月5日（金）

午後6時30分～8時30分

ところ：亀岡市役所市民ホール 参加者30名

亀岡ソーシャル大学 地元学 第2回

「亀岡の流域文化と観光」

10月3日（金）午後6時30分～8時30分 ガレリアかめおか 2F 大広間 参加者28名

嵯峨野観光鉄道株式会社 顧問 初代社長 亀岡観光大使

長谷川一彦さん

保津川かわまちづくり推進協議会会長

石田紀郎さん

【補足意見について】

- 1 亀岡の魅力発信に取り組む他団体との連携を模索して頂きたい。
- 2 キャンペ制による参加費徴収は長期的視点に立つと継続性が弱いのではないか。定額の参加費徴収も検討して頂きたい。

1について

亀スゴっ！ソーシャル大学共に、亀岡の魅力発信する多くの団体と連携することにより成り立つ企画です。
例 亀岡市文化資料館 亀岡マルシェ 暮しと育ちの森そらまめ、もりのわ 日本研ぎ文化振興協会
亀岡ハーブ 亀岡盲導犬協会 保津川遊船企業組合 嵯峨野観光鉄道 等と連携し、また企画時だけではなく、その後も相互の交流を深め繋ぐ役割も果たしています。

2について

「亀スゴっ！料理教室」においては、ご指摘に沿い参加費を定額徴収致しました。

3. 効果

実施による効果や成果を数値、具体例などを用いて具体的に記入してください。

一年間の亀スゴっ！シリーズ6回 ソーシャル大学シリーズ2回を通し、参加者は230名を超えました。

毎回各企画とも亀岡市市外の京都市、城陽市、大阪市、高槻市、南丹市、津市、京丹波町、能勢町からの参加者があり、全体で市外からの参加者は50名近くに上っています。

これは私たちが企画し取り上げたテーマが、亀岡市内だけの魅力発信に留まらず、広く多くの共感、関心を得るものであったことを示すものでした。

企画が終了後も私たちが亀岡の魅力として発信した情報をご覧になり、後日長野県から亀岡を訪問される観光客がおられました。みらいパスとしてメンバーがご案内させて貰い私たちにとっても大変嬉しい経験を致しました。

亀岡市民においては亀岡にいてまったく知らなかったと驚かれたり、数少ない貴重な話を聞く事が出来た、経験出来た、という数多くの感想が当日のアンケートにも寄せられています。

また、この企画に参加したことをきっかけとし、次は個人として各取組みに参加したり各現場を実際に訪れたりされる方もおられました。単にイベント開催に終わらず、その後もそれぞれの市民が亀岡の魅力を深め、新たなネットワークが構築されていった事は成果として嬉しく思います。

例 片井鉄工所、亀岡マルシェ、楽笑会、もりのわ、日本研ぎ文化振興協会への訪問、協力関係が生まれました。

